

社会福祉法人

芦別白光舎

軽費老人ホーム

ケアハウスあしべつ

社会福祉法人 芦別白光舎

〒075-0041 芦別市本町1065番地27

TEL.0124-22-2139 FAX.0124-22-4884

軽費老人ホーム ケアハウスあしべつ

〒075-0041 芦別市本町1065番地27

TEL.0124-22-6600 FAX.0124-23-3300

社会福祉法人 芦別白光舎

■施設の目的

多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として設置。



信念を以て努力



初代理事長
浅野 徳 平

■沿革

- 昭和32年 6月 芦別市身体障害者福祉協会において授産事業を目的にドライクリーニング工場の設置を計画、同士6名が創設役員となって具体的な問題について検討を開始し、準備にとりかかる。
- 昭和32年11月 芦別市上芦別町94番地、三菱芦別鉱業所用地内において営業中の既存業者よりクリーニング施設設備の譲渡を受け営業を開始した。
- 昭和37年 7月 三菱芦別鉱業所の閉山に伴い本町市街地への移転を計画、芦別市南1条東1丁目7番地に敷地253.09㎡、建物延266.10㎡を買収し、改築工事に当たっては北海道より200万円、芦別市より50万円の助成を受け更に労働金庫よりの融資を受けて整備し移転した。
- 昭和41年 1月 北海道知事より財団法人芦別白光舎として設立許可を受け、法人格取得した。定員20名
- 昭和42年 2月 厚生大臣より社会福祉法人芦別白光舎として設立許可を受け、授産施設としてスタートを切る。定員20名
- 昭和42年10月 日本自転車振興会より400万円補助金及び北海道共同募金会より50万円の配分金と社会福祉事業振興会より450万円の借入を受けて、工場の全面改築と機械設備の一部更新を行なった。
- 昭和45年 4月 天皇陛下よりご下賜金を拝受した。
- 昭和51年 7月 民芸品科を授産科目として取り入れた。
- 昭和51年10月 授産施設に対する施設事務費補助の特別措置の実施に伴い定員30名となる。
- 昭和55年 4月 縫製科を授産科目として取り入れた。
- 昭和57年 6月 ゴム靴部品科を授産科目として取り入れた。
- 昭和60年 2月 製袋科を授産科目として取り入れた。
- 昭和60年 7月 施設改築予定地として芦別市本町1065番地27に8,040㎡の用地を買収した。
- 昭和60年10月 木工科を授産科目として取り入れた。
- 昭和63年11月 日本自転車振興会補助金5,873万円、芦別市助成金3,600万円、社会福祉医療事業団より1,500万円借入れ、現在地に施設の全面改築を行い施設及び機械設備の近代化と充実を図った。
- 平成元年11月 北海道より施設整備補助金386万円を受け木工作業棟移設整備を行い、維持管理の万全と授産事業の安定を図った。
- 平成6年11月 芦別市より助成金350万円、国庫補助金1,213万円、北海道共同募金会配分金420万円を受け、リネン専用作業室の増築合わせて機械設備の整備を行った。
- 平成8年 8月 全国労働基準関係団体連合会、時間短縮支援センターより200万円の助成金を受け、全自動立体仕上機を新設して省力化を図り、平成8年9月より週休2日制を実施した。
- 平成10年 4月 北日本精機(株)の協力により、ベアリング組立て作業を開始、ベアリング科を授産科目に取り入れた。
- 平成17年 9月 芦別市より補助金1億6,600万円、国・北海道より施設設備補助金1億4,225万3千円を受け、独立行政法人福祉医療機構より1億9,600万円を借入れ、軽費老人ホームケアハウスあしべつ建設に着工した。
- 平成18年 3月 軽費老人ホームケアハウスあしべつ建設完成。
- 平成18年 4月 軽費老人ホームケアハウスあしべつ運営を開始。
- 平成18年 6月 日本郵政公社、年賀寄附金200万円の配分を受け老朽機械の更新整備を図った。



■施設概要

設置経営主体 社会福祉法人 芦別白光舎

所在地 北海道芦別市本町1065番地27 (芦別駅裏)

施設の種類 授産施設芦別白光舎の設置経営

施設の規模 敷地面積8.040.00㎡ 授産施設芦別白光舎 鉄骨造平屋建

授産科目 クリーニング科・縫製科・ベアリング組立科

役職員 評議員17名・理事8名(理事長1名・常務理事2名)・監事2名
授産施設役員7名(施設長含む)



受付業務



仕分作業



仕上風景



シーツアイロナー



タオルたたみ風景



昼食風景



ワイシャツ・プレス機類



縫製科



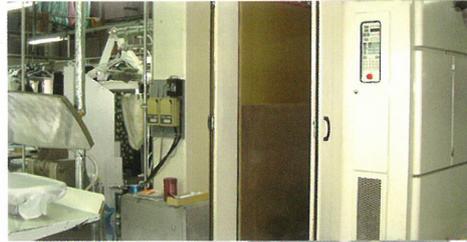
高速オルター



ゾールドライ機



スポン・プレス機



トンネルフィニッシャー



プレス機各種

■クリーニング設備の概要

[平成19年10月1日 現在]

No.	機械設備名	台数
1	パークドライ機	1
2	ゾールドライ機	1
3	ゾール蒸留機	1
4	ドライ機スプレー加工機	1
5	全自動水洗脱水機	4
6	オープン式水洗機	1
7	脱水機	1
8	糊煮器	1
9	乾燥機	3
10	ズボンプレス機	1
11	パンツトッパー	1
12	立体プレス機	1
13	白衣プレス機	1
14	ワイシャツ胴プレス機	1
15	ワイシャツ襟カフスプレス機	1
16	浴衣プレス機	1
17	綿腰プレス機	1
18	綿角型 プレス機	1
19	白衣両袖プレス機	1
20	スチームボックス	1
21	和服仕上台	1
22	アイロン仕上台	8
23	シングルボディプレス機	1
24	シングルタックプレス機	1
25	トンネルフィニッシャー	1
26	冷却循環ポンプ	1
27	染み抜き機	1
28	スクリューコンプレッサー	1
29	立体包装機	1
30	ジュータンシャンパー	1
31	シーツアイロナー	1
32	高速フォルダー	1
33	貫流ボイラー600K	1
34	貫流ボイラー500K	2
35	電動卓上ミシン	1
36	業務用ミシン	2

軽費老人ホーム ケアハウスあしべつ

■施設の目的

老人福祉の理念に基づき、高齢者の特性に配慮した住みよい住居を提供し、入居されている方々の自主性の尊重を基本として、明るく心豊かに生活出来るよう食事の提供、相談機能の充実、余暇活動の援助、疾病、災害緊急時に万全を期し、特定施設に入居されている方に対しては、個々の有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、食事、入浴、排泄等の介護その他日常生活上のお世話、機能訓練及び療養上のお世話など総合的なサービスの提供に努めることを目的とする。

■施設の概要

設置経営主体 社会福祉法人 芦別白光舎
 所在地 芦別市本町1065番地27
 施設の種類 軽費老人ホームケアハウスあしべつ
 入居定員 50名（そのうち特定施設20名）
 施設の規模 鉄筋コンクリート3階建、一部平屋建
 延床面積 2,799.94㎡
 敷地面積 3,784.16㎡
 職員 14名
 事業内容 ケアハウス運営事業
 特定施設入居者生活介護事業
 サービス内容 食事、入浴、排泄、離床、着替え、整容、機能訓練、健康管理、リクリエーション、相談及び援助

《ケアハウス》とは

ケアハウスとは健康で安全な生活を送れるよう食事、入浴等に配慮し自立したゆとりある毎日を過ごせる集合住宅です。全ての部屋が、施設できる個室ですが24時間ナースコールでヘルパーステーションと連絡がとれ、緊急時にそなえます。外出、外泊、面会等は基本的に自由です。定員のうち20名は介護保険で特定施設入居者生活介護の指定を受けております。

《利用できる方》

- ◎年齢が60歳以上の方。（夫婦で利用される場合は、どちらかが60歳以上であること）
- ◎お年寄りのみの世帯の方、もしくは家庭環境、住宅事情により家族との同居が困難な方。
- ◎自炊ができない程度の身体機能低下が認められるが、日常生活においては自分で行える方
- ◎特定施設を利用される方は介護認定を受け、介護度のついた方。

《サービス内容》

- ◎食事は専任の栄養士によるバランスのとれた献立で、一日三食を用意します。
- ◎入浴は大浴室、個人浴室でご利用になれます。
- ◎スタッフによる生活相談、健康面の相談等を気楽に受けられます。
- ◎健康の増進や充実した毎日の生活を送っていただくため、様々な活動を企画しております。
- ◎特定施設に入居の方は、身体介助・家事援助等の支援を受けることができます。

安全・安心・快適に...

60歳からのゆとり生活は「ケアハウスあしべつ」で



1人部屋



ケアハウスユニット



ロビー

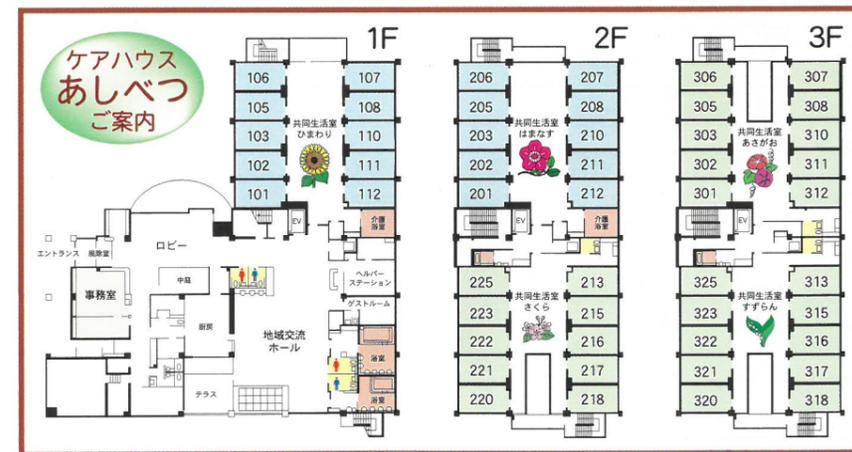


大浴場



食堂1F地域交流ホール

北海道のほぼ中央に位置し南東から北西にかけ空知川が流れ、南には芦別岳など1,000mを超える山々や丘陵が周囲を囲み大自然に恵まれた芦別。ケアハウスあしべつは緑豊かな環境の中で、いきいきとした生活を実現できるよう配慮された住宅です。施設は全体に明るく落ち着いた色調のものを多く使用し、安らぎのある生活を送られることを重視しています。入居されたひとりひとりが潤いのある自由で快適な、そして自立した生活ができるよう看護・介護職員を配置し、万全なサポート体制で皆様のご協力をしてまいります。



ご相談・お問い合わせ先

ケアハウスあしべつ TEL (0124) 24-6600
 〒075-0041 芦別市本町1065番地27 FAX (0124) 23-3300



主要地域への交通アクセス

札幌（道央道利用）…約121km…約1時間40分
 旭川……………約46km……………約1時間
 富良野……………約35km……………約40分
 滝川……………約32km……………約40分